

レジメン名称(パージェタ+トラスツズマブ+ドセタキセル_q3w)

乳癌

ID

患者氏名

様

(性別)

身長

cm

体重

kg

年齢

歳

体表面積

m²

薬剤	投与量	投与日 1 コース 3 週間 Day 1.....8.....15.....22
パージェタ	初回 840 mg/body、2 回目～420 mg/body	↓
トラスツズマブ	初回 8 mg/kg、2 回目～6 mg/kg	↓
ドセタキセル	75 mg/m ²	↓

注意事項 ドセタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

乳腺外科時：ドセタキセル投与時は手足冷却（主に手足の指）を行うこと

心機能に注意 投与前には心機能を評価する（EF 50%以上）

パージェタ 840mg を投与する時：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要（詳細は投与方法の項を参照）

添付文書より：パージェタの投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。

- 1)．前回投与日から 6 週間未満のときには、 4 2 0 m g を投与する。
- 2)．前回投与日から 6 週間以上のときには、改めて初回投与量の 8 4 0 m g で投与を行う。なお、次回以降は 4 2 0 m g を 3 週間間隔で投与する。

添付文書より：トラスツズマブの投与が遅れた際には、以下のとおり投与することが望ましい。

- 1)．前回投与日から 6 週間未満のときには、 6 m g ／ k g を投与する。
- 2)．前回投与日から 6 週間以上のときには、改めて初回投与量の 8 m g ／ k g で投与を行う。なお、次回以降は 6 m g ／ k g を 3 週間間隔で投与する。

投与方法：1 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	初回 パージェタ 840 mg ，生食 250mL、60 分、メインルートから投与 以降 パージェタ 420 mg ，生食 250mL、（初回で問題無ければ）30 分、メインルートから投与 パージェタ 840mg を投与する時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	生食 50mL メインルートから投与 経過観察 パージェタ 840mg を投与する時：ゆっくりルートキープ、30 分間投与（残破棄可） （問題なければ）以降：ゆっくりルートキープ、15 分間投与（残破棄可）
4	トラスツズマブ mg，生食 250mL トラスツズマブは注射用水で溶解：60mg/3mL、150mg/7.2mL 90 分、（問題なければ）次は 60 分、（問題なければ）以降 30 分、メインルートから投与 注意：点滴時間は前回投与から 8 週以上経過している時は 90 分で投与（初回扱い）
5	グラニセトロン（3mg/100mL）1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、デキサート(1.65mg/0.5mL) 1A 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
6	ドセタキセル mg，生食 250mL 60 分かけて点滴 ケモセーフロックのルートより投与 乳腺外科時：ドセタキセル投与時は手足冷却（主に手足の指）を行うこと
7	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄